

## 「令和5年度全国学力・学習状況調査」の分析結果と対策について

行方市立玉造中学校

令和5年度に、3年生を対象に実施した「令和5年度全国学力・学習状況調査」につきまして、本校の結果の分析と課題の対策を以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。

この度のお知らせは、お子さまの学習における進捗状況を共有し、共に学び成長する機会と捉えております。学校では、今回の調査結果を踏まえ、学校教育目標の実現に向けて取り組んで参ります。今後とも、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

### 【国語科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・原因と結果、意見と根拠など、話や文章の中に含まれている情報と情報との関係について理解する力が身に付いています。
- ・「書くこと」において、「興味をもち」を「興味をもったため」に直す意図を正しく選び、答えることに課題が見られました。「書くこと」において、書いた文章を推敲する学習を行ったり接続語の前後で述べられている事柄の関係を捉えたりする学習を行い、語句の用法や叙述の仕方を確かめて文章を整える力の定着を図っていきます。
- ・「読むこと」において、「現代語に訳された竹取物語」と「古典の竹取物語」を比較し、どこがどのように工夫されているのかを、それぞれの物語の表現を取り上げて適切に書くことに課題がありました。今後は、二つの文章や作品等を比較し、表現や言葉の選択によって読み手に与える印象に違いがあることを捉えることができる言語活動を取り入れていきます。

### 【数学科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・1次関数のグラフから事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力が付いてきています。また、問題場面の内容を的確に捉え、条件に合う計算を行う力が付いてきています。
- ・「図形」の領域において、ある事柄が成り立つことを証明したり、証明された図形の性質が条件を変えても成り立つかどうかを証明したりすることに課題が見られました。図形の性質を証明する場面では、観察や操作、実験などの活動を通して自分で構想を立て、それをもとに図形の性質を証明できる活動を取り入れていきます。
- ・「データの活用領域」において、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、判断することに課題が見られました。今後は、表やグラフからデータの分布や傾向を比較して読み取る活動や判断した理由を説明する活動を取り入れていきます。

### 【英語科】

〈分析と課題の解決に向けて〉

- ・「情報を正確に読み取り事実と考えを区別する」問題において、事実と考えを区別して読む力が身に付いてきました。引き続き、主語や動詞などの意味のまとまりを意識しながら、英文を読み取る活動を行っていきます。
- ・「文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書く」ことについて課題が見られました。既習の文法事項を適切に使い分けられるようにするために、関連のある文法事項をまとめて整理し、既習の文法事項と新しく学んだ文法事項を比較し共通点や相違点を考える活動などを行っていきます。
- ・「まとまりのある文章を書く」ことについて課題が見られました。今後も文と文のつながりに注意を払い、全体

として一貫性のある文章を書けるようにするために、日常的な話題について事実や自分の考えなどを整理し、英語で話したり書いたりする言語活動を行っていきます。

#### 【質問紙】

〈分析と課題に解決に向けて〉

- ・「将来の夢や目標をもって努力している」という質問項目に対して肯定的に答える生徒の割合が多いです。今後も、将来の見通しや学校での学習が将来に役立つことを実感できるようにしていきます。
- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」という質問項目に対して肯定的に答える生徒の割合が多いです。今後も、生徒の興味や関心に基づいて、探究的な学習ができるようにしていきます。
- ・「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか」という質問項目に対して肯定的に答える生徒の割合が多いです。今後も、生徒の実態に応じたきめ細やかな指導・支援に努めていきます。
- ・学校の授業以外でも自分の力で学習に取り組めるように、学習計画の立て方や学習の方法など、具体例を示しながら支援をしていきます。

#### 【保護者の皆様へ】

- ・現代の子どもたちは、ソーシャルメディアを日常的に利用しています。これは友達とのコミュニケーションや情報収集に便利なツールですが、いくつかの懸念も伴います。お子さまが安全かつ健全に SNS を利用するために情報教育を学校でも引き続き進めていきます。ご家庭でも SNS 等の利用について、お子さまとの対話、サポートをお願いいたします。
- ・「家で計画を立てて勉強をしていますか」という質問項目に対して肯定的に答える生徒の割合が多いです。家庭での適切な学習時間の確保について、学校でも呼びかけていきます。このことについて、ご家庭でもお子さまと話し合ったり、学習している様子に気付いたときには、励ましの声かけをしたりしていただきますようお願いいたします。